

[評価調書] (1億円以上) 林道事業

森林管理道開設

樽峠線

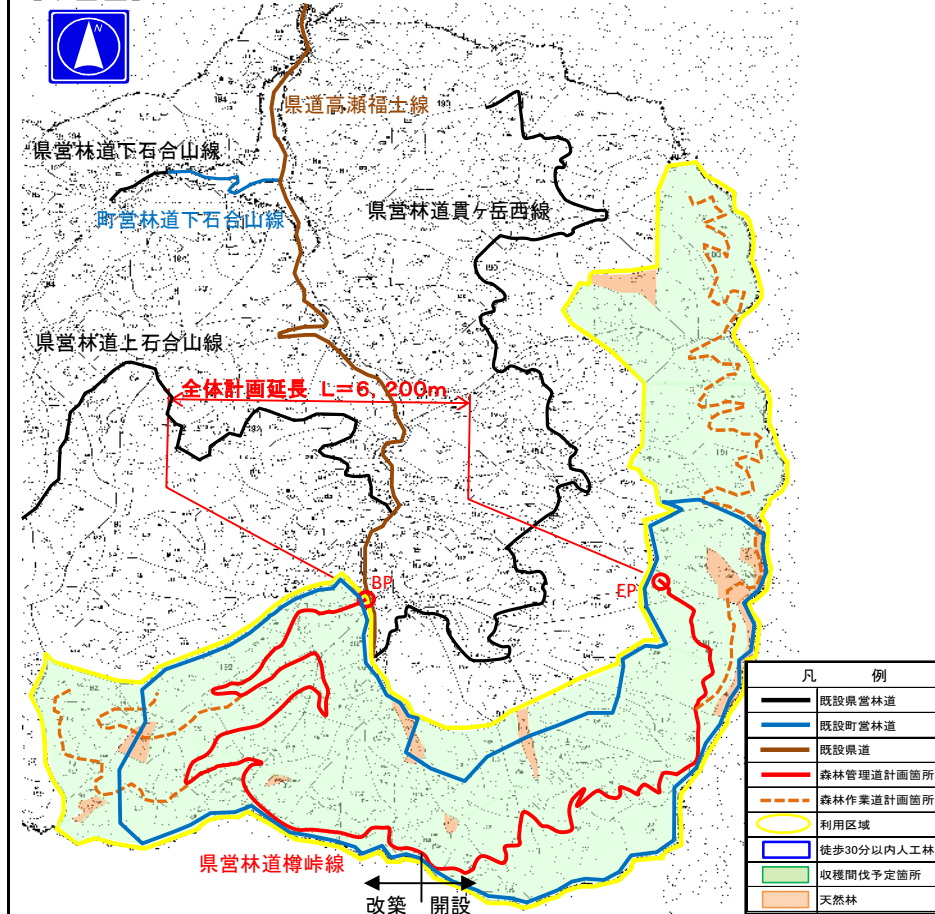
1. 事業説明シート

(区分) 国補・県単

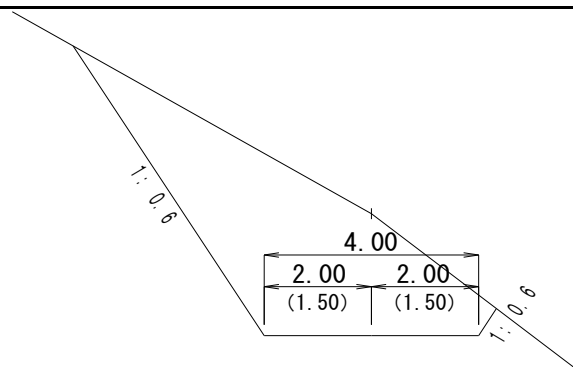
事業名		事業箇所		地区名		事業主体		山梨県	
森林管理道開設事業		南巨摩郡南部町福士地内		たるとげせん 樽峠線					
(1) 事業の概要					(3) 事業の妥当性評価				
①課題・背景					①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か)				
本路線は、南巨摩郡南部町福士地内の県有林内に位置する延長6.2kmの森林管理道である。					妥当 妥当でない				
利用区域261haの全てが県有林であり、区域面積の約95%を占めるヒノキを中心とした人工林は、全てが伐採対象林分となる森林資源の充実した地区であることから、木材を低コストで安定的に供給するとともに、その後の植栽や造林作業の効率化を図るため、本路線を整備するものである。					・森林法第193条の規定により、行政が実施主体となることから妥当				
②整備目標・効果					②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか)				
□主要目標 ○森林整備の効率化					妥当 妥当でない				
・利用区域内の人工林における伐採対象人工林の割合					・県有林の適切な管理経営を目的とする事業であることから県による執行が妥当				
100% ≥ 36.5%※					○				
・利用区域内の人工林率					○				
95.1% ≥ 69.9%※									
・徒歩で30分以内に到達できる範囲内森林の人工林率									
96.3% > 70.0%※									
(※評価基準値)									
□副次目標 ○なし									
□副次効果 ○防火帯・延焼遮断帯の確保									
○リサイクルの推進 (再生砕石を使用した路盤工)									
(2) 整備内容					③経済妥当性				
①整備内容 森林管理道開設 L=6,200m W=4.0m					総事業費 1,188 百万円 工期 R8~R27 基準年 R7				
②着手年度 令和8年度 ③完成見込年度 令和27年度					費用 770百万円 便益 860百万円				
④総事業費 1,188百万円 (国費594百万円(50/100) 県費594百万円(50/100))					建設費 720百万円				
⑤年度別の整備内容 (事業費)					維持管理費 50百万円				
令和8年度 測量設計 10 百万円					木材利用増進等便益 67百万円				
令和9~14年度 改築 L=3,600m 372 百万円					森林整備促進等便益 793百万円				
(600m×6年間) (62百万円×6年間)					災害等軽減便益 百万円				
令和15~27年度 開設 L=2,600m 806 百万円					その他※ 百万円				
(200m×13年間) (62百万円×13年間)					B/C 1.12				
※記載内容は見込みであり、確定したものではない。					費用便益比(B/C)は、国の採択基準1.0を超えている。				
⑥既整備内容・期間・事業費					④事業実施・規模の妥当性				
なし					妥当 妥当でない				
					・利用期を迎えた人工林資源の生産性を向上し、林業の成長産業化を図るために必要な事業。利用区域内の森林を管理経営するために必要最低限の規模であり、妥当				
					⑤整備手法の有効性				
					妥当 妥当でない				
					・本計画箇所はアクセスする路網がなく、計画的な森林整備を実施するためには、現況地形や利用区域面積を踏まえると森林管理道の開設が妥当				
					⑥環境負荷等への配慮				
					妥当 妥当でない				
					・切土量、盛土量、立木の伐開幅を抑制した計画としている。また、現地発生材や再生材等を使用するなど環境への配慮も行っており妥当				
					⑦事業計画の熟度				
					妥当 妥当でない				
					・開設区間は全て県有林であるため用地に問題なく、妥当				
					総合評価				
					[貢献度ランク: O]				
					(4) 事業位置図等				

2. 添付資料シート

【平面図】



【標準横断面図】



【写真①】



利用間伐予定箇所 191林班わ5小班

【写真②】



利用間伐予定箇所 192林班と4小班